



# 活動報告



3月 衆議院議員第3選挙区補欠選挙 結果は残念



6月 名護でのイベントで儀間代表と泡盛で乾杯



7月 参議院議員選挙 総支部応援 維新躍進



8月 港湾議会 スイスクルーズ会社MSC訪問



9月 大学院大学総務企画委員会で視察



9月 香港のターボジェット社を訪問



10月 母親の97歳カジマヤー祝の司会進行役



10月 台湾への琉中議員連盟での訪問



11月 仙台において、後ろの虹は本物です。



11月 令和2年県議会選挙日本維新の会から公認

お問い合わせ・相談窓口 行政相談等お困りの時は、お気軽にご相談ください。

## 小禄事務所

住所：〒901-0152 那覇市小禄 390 番地 1 階  
TEL：098-840-1060  
FAX：098-859-2080

## 沖縄県議会 維新の会

住所：〒900-8501 那覇市泉崎 1-2-3  
TEL (098) 866-2584  
FAX (098) 866-2575



公式サイト：http://tomamorio.com

議会活動  
報告日より  
Vol.19

沖縄県議会  
議員

まっすぐ真剣に政治に挑む！

# 當間モリオ

## 「初志貫徹」



令和という新しい時代、安倍一強が続く政治的にも自国第一主義経済的にも異常気象が続く環境的にも変革が求められる時代になりました。次期振興計画は地元事業者への税制優遇や規制緩和で県民所得を向上させる。

- ・行政広域化する「沖縄特別州構想」で日本をリードする沖縄へ。
- ・馬毛島活用で基地負担軽減効果を出して、地位協定等で粘り強い交渉を実現していく。
- ・やんばるテーマパークが沖縄観光、経済をもっと元気にします。
- ・教育無償化で教育格差をなくし、世界で活躍する若者で県力を深化させる。
- ・鉄軌道、モノレール三両化や路線バス統合、タクシー活用で交通インフラ連携を進める。
- ・消防体制広域化で大規模災害に強い安心な社会の構築を実現します。
- ・首里城再建は県民が主体的に流出文化財も「沖縄の魂」を取り戻します。

そして「身を切る改革」を進め是々非々の立場で「批判より提案」維新イズムで、これからも「初志貫徹」まっすぐ真剣に政治に挑んで参ります。

## 當間モリオプロフィール

昭和 35 年 9 月 7 日  
那覇市小禄生まれ  
昭和 54 年 3 月  
豊見城高等学校卒業  
昭和 58 年 3 月  
阪南大学卒業  
昭和 58 年 4 月  
小禄農業協同組合就職  
平成 13 年 7 月  
那覇市議会議員初当選  
平成 16 年 6 月  
沖縄県議会議員初当選  
平成 28 年 6 月  
四期目当選  
令和 元 年 7 月  
日本維新の会沖縄県総支部  
代表代行兼幹事長

令和2年6月  
沖縄県議会議員選挙！

那覇市・南部離島選挙区

- ・那覇市・久米島町
- ・北大東村・南大東村
- ・渡嘉敷村・座間味村
- ・栗国村・渡名喜村



- 総務企画委員会
- 米軍基地関係特別委員会
- 那覇港管理組合議会

公式サイト：http://tomamorio.com



## 令和元年6月定例会

### 基地問題について

法廷闘争だけでは問題解決はない、県は対案を示す必要がある。馬毛島を日本政府の買収やグアム移設で日本からの2千億円余りの拠出は、沖縄の基地負担軽減を前に進める事が出来る素地はできました。海兵隊9千名移動、嘉手納や普天間飛行場で行われている訓練移転を進める事が重要で、辺野古移設反対だけでは政治ではない。陸上自衛隊をハンセン等へ移設して日米共有化することで基地の整理縮小を図る新たな基地返還アクションプログラムを構築することが必要です。

### 県内総生産と県民所得の見通し

平成27年度県内総生産は4兆1千億円、今後も3.7%成長継続で令和3年度5兆1千億円の展望達成見込み。県内所得においても271万円になる。計画も残り2年、新たな振興計画では高率補助は厳しいとの議論もある。特殊事情だけでなく新しい時代の沖縄を構築するには、特別道州制や広域行政構想を勝ち取る位の知恵をだして進めて行かなければ次期振興計画は厳しいと認識する。

### Jリーグ規格スタジアムの整備事業について

これは翁長知事が市長時代に公約した事業である。防衛省予算を活用する予定が無理で県がやる事になる。しかし県も予算が無い、J1ライセンスはスタジアムを建設するが条件であります。MICEと一緒に民間活力の導入を進めるとあるが複合機能を導入する為の規制緩和が必要である。陸上競技はどうするのか課題もある。



### 離島の公営住宅整備事業や公共工事について

人手不足や資材高騰のため、不調不落で公営住宅の進捗は厳しい。最近では耐震や白アリ対策された木造住宅もあり、島々では景観を考慮しても導入すべきである。公共工事は地元事業者で可能な分離分割、必要経費の実態に応じた精算で取組んでいるが石垣島国際ターミナル増設は不調が続いている。民間工事でも建築単価高騰が離島においても課題になっている。

## 令和元年9月定例会

### 万国津梁会議とトークキャラバンについて

津梁会議は県のシンクタンク的な機能と知事は言うが、受託した業者は実績も無い団体で知事のお友達の皆さんである。基地問題や子供貧困問題など5部門で2400万円、貧困問題は2回で終り提言を受ける会議の必要性に疑問である。キャラバンも知事の選挙活動であり税金を使って行うことでは無い。県で出来る事業であり税金の無駄づかい。

### 那覇軍港の代替施設の進捗状況について

昭和49年に返還合意、平成7年浦添ふ頭移設報告で平成13年に儀間市長が受け入れ表明から約20年近くになる。物流の95%は港であり、西海岸開発は経済的にもインパクトは大きくキャンプギンザー返還等で一体化した街づくりが出来る地区であり早急に進める事業です。

第2滑走路も出来る空港ターミナルも拡張が必要、那覇軍港再開発は地主にとっても那覇市においても大きな経済効果がある。



### 本当に出来る鉄道の進捗について

鉄道の可能性調査費を国予算で約12億円、県委託予算で約4億円の費用を使いながら未だ費用便益率が達してない。9年もかけてやれない条件を出している。地下トンネルではなく高架方式で費用軽減もしている、北部で新たなテーマパークも計画されこれが加わると効果は向上する。渋滞や北部振興観光客増加対策でも早期導入に取組んでいきます。

### 久米島の海洋深層水取水新設について

現在15000tの深層水取水で車えび、海ブドウや化粧品など利活用は多岐にある。これを今回10倍に増設して地域振興を図る重要な事業で、地元が中心になり久米島発の商品や自然エネルギーモデルとして企業誘致や人材育成でも県も協力して進めていく。離島振興の観点から国の予算を確保し久米島の活性化を図る。

### 首里城再建は県民が主体的に

首里城火災は残念であるが、県や財団の責任を明確にし前に進めていく。また多くの寄付金が寄せられていることに感謝し、県議会も議員の報酬削減をして再建に努めていきます。

国所有ではあるが沖縄のシンボルである事を考えると沖縄が主体的に進める事が大事、再建は首里城だけでなく他のグスク群の整備や流出文化財も取り戻す事も必要である。龍潭通りなどの周辺施設整備で徒歩や電動カートを活用して単に首里城再建だけでなく地域も活性化して元気にする事が大切である。



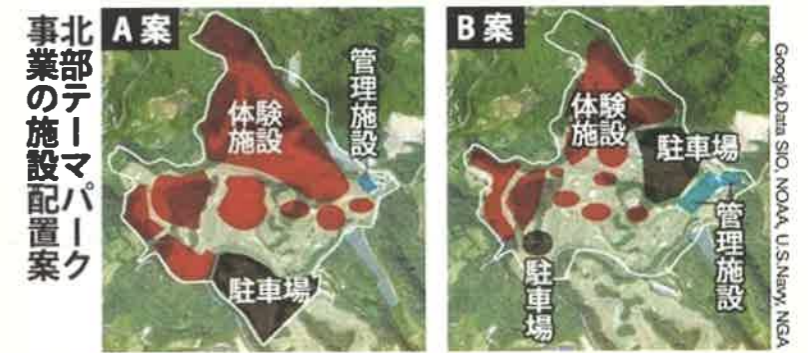
### 馬毛島買収合意 米軍訓練移転で基地負担軽減

維新が公約として進めていた馬毛島が160億円で買収合意された。白紙状態から下地代議士が粘り強く交渉中で合意されたものである。種子島から12キロも離れている、買収額も当初の3倍と批判する政党もあるが嘉手納基地の年間地料約290億円、普天間基地74億円ですので負担軽減が進むと問題無いものと考え。伊江島のパラシュート、高江ヘリパッド、嘉手納・普天間基地騒音問題を解決でき負担軽減を進める。



### やんばる新テーマパーク 2025年開業オープン

我々が構想を出し公約に進めていたテーマパークがいよいよ現実となる。これも大阪のユニバーサルをV時回復させた森岡氏が開ける事業である。沖縄の自然や文化をテーマにしたどこにも無いエンターテイメントが沖縄やんばるに出来る。今帰仁村の嵐山ゴルフ場で、2021年から着工2025年完成予定。それまでに交通体系を整備していかなければならない。鉄軌道が出来る最も重要な民間事業である。



### 調理又は製菓の専門学校を卒業した留学生が就職できる業務の幅の拡充

- 日本料理の海外普及を目的に、調理の専門学校を卒業した外国人留学生が、引き続き、日本国内の日本料理店で働きながら、技術を学べる制度。(最長5年間)
- クールジャパンの議論において、日本料理以外の分野でも教える技術が高い日本で学びたいとの意見。
- このため、調理又は製菓の専門学校を卒業した留学生が就職できる業務の幅を拡充し、日本料理以外の料理や製菓も対象とすることで、検討している。

日本料理海外普及人材育成事業(赤字は拡充検討事項)

